

2023年7月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年9月12日

上場会社名 株式会社Ridge-i 上場取引所 東
 コード番号 5572 URL http://ridge-i.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)柳原 尚史
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)中井 努 (TEL) 03(4214)8558
 定時株主総会開催予定日 2023年10月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年10月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期の業績 (2022年8月1日～2023年7月31日)

(1) 経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期	790	△18.4	70	24.7	60	△44.4	44	△70.3
2022年7月期	968	130.9	56	—	109	—	150	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年7月期	12.54	11.80	2.6	3.4	8.9
2022年7月期	43.32	—	11.2	7.4	5.8

(参考) 持分法投資損益 年 月期 — 百万円 年 月期 — 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年7月期	2,062	1,989	96.5	524.36
2022年7月期	1,561	1,413	90.5	408.08

(参考) 自己資本 2023年7月期 1,989 百万円 2022年7月期 1,413 百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年7月期	△145	△38	521	1,720
2022年7月期	178	△4	△2	1,383

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2024年7月期の業績予想 (2023年8月1日～2024年7月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	466	6.9	29	△64.5	29	△64.6	20	△64.3	5.51
通期	1,000	26.5	102	45.1	102	67.6	71	60.3	19.06

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年7月期	3,794,130株	2022年7月期	3,464,130株
② 期末自己株式数	2023年7月期	2株	2022年7月期	－株
③ 期中平均株式数	2023年7月期	3,552,731株	2022年7月期	3,464,130株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法について)

当社は、2023年9月21日（木）に機関投資家及びアナリスト向け説明会（オンライン説明会）を開催する予定です。当日の説明会資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2022年8月1日から2023年7月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の対策進展や行動制限の緩和により景気の持ち直しの動きがみられたものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や国内外のマクロ経済におけるインフレ・金融引締め傾向が見られる等の先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社を取り巻く国内AI市場においては、「Chat GPT」をはじめとする大規模言語モデルによる技術革新が進展し生成AIの活用に対する注目の高まりにより、企業の生産性向上や競争力強化を目的としたDX(デジタルトランスフォーメーション)関連の高い需要が継続しており、引き続き様々な場面においてAI導入の流れが加速しております。

当社は「データ・AIを駆使した最先端技術とビジネス知見を用いて、未解決の課題に挑み、新しい社会を実現する」をミッションとして掲げ、カスタムAIソリューション事業として顧客の目的から現場のプロセス、課題を理解し、様々なデータに対応したAIを組み合わせた最適なAIソリューションを提案し、実装までを行っております。当事業年度においても、前事業年度から継続している大手企業の顧客を中心にAIプロジェクトの執行を行いました。前事業年度の大型案件プロジェクトが完了した一方で当事業年度は前事業年度ほどの大型プロジェクトがなかったためにAI活用コンサルティング・AI開発の売上高は617,683千円となり、衛星関連プロジェクトは官公庁からのプロジェクトが順調に増加しており人工衛星AI解析の売上高は102,734千円となりました。また、大型の保守運用が開始されたためAIライセンス提供の売上高は69,966千円となりました。これらの結果、売上高は合計で790,384千円(前年同期比18.4%減)となりました。

売上総利益については、プロジェクトの採算性は変わらなかったため売上高総利益率は前事業年度と同程度でしたが上記の売上高減少に伴い515,648千円(前年同期比15.8%減)となりました。

営業利益については、上記により売上総利益が減少した一方で、前事業年度にプロダクト開発が完了したことによる研究開発費の減少と営業外注費用の削減により70,346千円(前年同期比24.7%増)となりました。

経常利益については、前事業年度はプロジェクト関連の助成金収入52,605千円を計上していましたが当事業年度は63千円のみとなり、一方で当事業年度は上場関連費用が発生したことにより60,896千円(前年同期比44.4%減)となりました。

当期純利益については、前事業年度に繰延税金資産を計上したことによる法人税等調整額の計上がありましたが、当事業年度は特別な計上がなかったことにより44,564千円(前年同期比70.3%減)となりました。

なお、当社の事業セグメントはカスタムAIソリューション事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における流動資産は1,950,070千円となり、前事業年度末に比べ481,866千円増加いたしました。これは主に、資金調達により現金及び預金が337,626千円増加したことと継続途中のプロジェクトが増加し売掛金及び契約資産が158,874千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は2,062,668千円となり、前事業年度末に比べ501,412千円増加いたしました。

(負債)

当事業年度末における流動負債は73,180千円となり、前事業年度末に比べ74,449千円減少いたしました。これは主に、研究開発費や営業費の支払いにより未払金が64,540千円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は73,180千円となり、前事業年度末に比べ74,449千円減少いたしました。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は1,989,487千円となり、前事業年度末に比べ575,862千円増加いたしました。これは主に、資金調達により資本金265,650千円および資本剰余金265,650千円が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、売上債権及び契約資産の増加等の要因により、前事業年度末に比べ337,626千円増加し、当事業年度末には1,720,780千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は145,756千円となりました。これは主に、税引前当期純利益60,896千円の計上等があったものの、売上債権及び契約資産の増加額124,554千円、未払金の減少額64,540千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は38,263千円となりました。これは主に、プロダクトの開発に伴う無形固定資産36,300千円の計上等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果調達した資金は521,646千円となりました。これは主に、資金調達により資本金及び資本準備金が531,300千円増加したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2024年7月期につきましては、国内外のマクロ経済におけるインフレ・金融引締め傾向が見られる等の先行き不透明な状況ではあるものの、カスタムAIソリューション事業の需要を獲得すべく積極的な事業展開を続けるとともに、組織強化と人材増強に努めてまいります。AIコンサル開発は既存企業プロジェクトの継続拡大と大型案件の獲得に注力していきます。衛星AIは官公庁を中心に需要が拡大しているためそれに対応していく方針です。ライセンスAIは現状案件の継続拡大を中心にしながら新規ライセンスの立ち上げに努めてまいります。

以上を踏まえ、当社の2024年7月期通期の業績予想につきましては、売上高1,000百万円（前年度比26.5%増加）、営業利益102百万円（前年度比45.1%増加）、経常利益102百万円（前年度比67.6%増加）、当期純利益71百万円（前年度比60.3%増加）を見込んでおります。

業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と大きく異なる可能性があることを予めご承知ください。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年7月31日)	当事業年度 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,383,154	1,720,780
電子記録債権	34,320	—
売掛金及び契約資産	38,242	197,116
仕掛品	60	1,442
前払費用	12,407	18,042
その他	19	12,688
流動資産合計	1,468,204	1,950,070
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	1,611	0
車両運搬具(純額)	772	—
工具、器具及び備品(純額)	11,513	5,274
有形固定資産合計	13,897	5,274
無形固定資産		
ソフトウェア	1,151	34,738
無形固定資産合計	1,151	34,738
投資その他の資産		
出資金	30	30
敷金及び保証金	36,187	35,947
繰延税金資産	41,784	36,607
投資その他の資産合計	78,001	72,584
固定資産合計	93,050	112,597
資産合計	1,561,255	2,062,668

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年7月31日)	当事業年度 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,831	5,400
未払金	84,589	20,048
未払法人税等	1,223	27,189
未払消費税等	32,934	8,125
預り金	17,946	10,767
その他	105	1,650
流動負債合計	147,630	73,180
負債合計	147,630	73,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	365,650
資本剰余金		
資本準備金	764,999	1,030,649
その他資本剰余金	669,999	547,375
資本剰余金合計	1,434,999	1,578,024
利益剰余金		
利益準備金	1,250	1,250
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△122,624	44,564
利益剰余金合計	△121,374	45,814
自己株式	—	△1
株主資本合計	1,413,624	1,989,487
純資産合計	1,413,624	1,989,487
負債純資産合計	1,561,255	2,062,668

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
売上高	968,521	790,384
売上原価	355,945	274,736
売上総利益	612,576	515,648
販売費及び一般管理費	556,172	445,301
営業利益	56,403	70,346
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	13
助成金収入	52,605	63
固定資産売却益	—	79
その他	479	44
営業外収益合計	53,097	201
営業外費用		
上場関連費用	—	9,651
営業外費用合計	—	9,651
経常利益	109,500	60,896
税引前当期純利益	109,500	60,896
法人税、住民税及び事業税	1,223	11,156
法人税等調整額	△41,784	5,176
法人税等合計	△40,560	16,332
当期純利益	150,061	44,564

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	100,000	764,999	669,999	1,434,999
当期変動額				
新株の発行				
準備金から剰余金への振替				
自己株式の取得				
当期純利益				
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	100,000	764,999	669,999	1,434,999

	株主資本					純資産合計
	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	1,250	△272,686	△271,436	—	1,263,563	1,263,563
当期変動額						
新株の発行					—	—
準備金から剰余金への振替					—	—
自己株式の取得					—	—
当期純利益		150,061	150,061		150,061	150,061
当期変動額合計	—	150,061	150,061	—	150,061	150,061
当期末残高	1,250	△122,624	△121,374	—	1,413,624	1,413,624

当事業年度(自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	100,000	764,999	669,999	1,434,999
当期変動額				
新株の発行	265,650	265,650		265,650
準備金から剰余金への振替			△122,624	△122,624
自己株式の取得				
当期純利益				
当期変動額合計	265,650	265,650	△122,624	143,025
当期末残高	365,650	1,030,649	547,375	1,578,024

	株主資本					純資産合計
	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	1,250	△122,624	△121,374	—	1,413,624	1,413,624
当期変動額						
新株の発行					531,300	531,300
準備金から剰余金への振替		122,624	122,624		—	—
自己株式の取得				△1	△1	△1
当期純利益		44,564	44,564		44,564	44,564
当期変動額合計	—	167,188	167,188	△1	575,862	575,862
当期末残高	1,250	44,564	45,814	△1	1,989,487	1,989,487

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	109,500	60,896
減価償却費	32,043	13,620
受取利息及び受取配当金	△13	△13
助成金収入	△52,605	△63
固定資産売却損益 (△は益)	—	△79
上場関連費用	—	9,651
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	15,247	△124,554
仕掛品の増減額 (△は増加)	△60	△1,381
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,064	△5,430
未払金の増減額 (△は減少)	71,567	△64,540
前受金の増減額 (△は減少)	△28,759	1,544
預り金の増減額 (△は減少)	5,589	△7,179
未払法人税等の増減額 (△は減少)	△136	25,965
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16,673	△24,808
その他	△2,555	△28,236
小計	156,426	△144,610
利息及び配当金の受取額	13	13
助成金の受取額	19,188	63
法人税等の還付額	3,924	—
法人税等の支払額	△1,360	△1,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,192	△145,756
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,863	△2,926
有形固定資産の売却による収入	—	722
無形固定資産の取得による支出	△715	△36,300
敷金及び保証金の回収による収入	—	240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,578	△38,263
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	531,300
自己株式の取得による支出	—	△1
上場関連費用の支出	—	△9,651
リース債務の返済による支出	△2,840	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,840	521,646
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	170,772	337,626
現金及び現金同等物の期首残高	1,212,381	1,383,154
現金及び現金同等物の期末残高	1,383,154	1,720,780

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当事業年度(自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)

当社の事業セグメントは、カスタムAIソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
1株当たり純資産額	△76.90円	524.36円
1株当たり当期純利益	43.32円	12.54円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	11.80円

(注) 1. 当社は、2023年1月4日付で普通株式10株につき1株とする株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	150,061	44,564
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	150,061	44,564
普通株式の期中平均株式数(株) (うち普通株式) (うちA種優先株式) (うちB種優先株式)	2,500,000 625,000 339,130	3,552,731
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	224,150
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権5種類(新株予約権の数2,588,500個)	—

(注) 1. A種優先株式及びB種優先株式は剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。